

標準的な接種スケジュール例



令和6年4月1日現在

■:公費助成で接種できる期間

■:日本小児科学会推奨接種期間

▼:標準的な接種時期

●:通知送付時期

ワクチンの種類		接種回数 接種済み☑	0 か月	1 か月	2 か月	3 か月	4 か月	5 か月	6 か月	7 か月	8 か月	9 か月	10 か月	11 か月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳						
公費助成で接種できる年齢																																				
五種混合 2か月～7歳半に至るまで		4回 □□□□			1 ▼	2 ▼	3 ▼	20～56日あけて3回										追 ▼	3回目から1年～1年半まで																	
小児用肺炎球菌 2か月～5歳に至るまで		4回 □□□□			1 ▼	2 ▼	3 ▼	27日以上あけて3回										追 ▼	1歳以降かつ3回目から60日以上																	
BCG 1歳に至るまで		1回 □	標準的には5～8か月まで																																	
B型肝炎 1歳に至るまで		3回 □□□			1 ▼	2 ▼	27日以上あけて2回										3 ▼	1回目から139日以上																		
□タウイルス	□タリックス® (1価) 6週～24週	2回 □□			1 ▼	2 ▼	27日以上あけて2回																													
	□タテック® (5価) 6週～32週	3回 □□□			1 ▼	2 ▼	3 ▼	27日以上あけて3回																												
日本脳炎 (1期) 6か月～7歳半に至るまで (2期) 9歳以上13歳未満		4回 □□□□											(1期) 1 ▼	2 ▼	追 ▼											(2期) II ●▼										
													6～28日以上あけて2回、2回目からおおむね1年後に1回										9～13歳未満													
													平成19年4月1日以前に生まれた方は、1期と2期の不足分を20歳になる前日まで公費で接種することができます。																							
二種混合 11歳以上13歳未満		1回 □																					1 ●▼	標準的には11～12歳に至るまで												
麻しん風しん混合 (1期) 1歳～2歳に至るまで (2期) 小学校就学前1年間		2回 □□											(1期) 1 ●▼	1～2歳に至るまで										(2期) II ●▼	小学校就学前1年間											
水痘 1歳～3歳に至るまで		2回 □□											1 ●▼	2 ▼	6～12か月あけて2回																					
HPV 小学6年生～ 高校1年生 ※女性のみ	サーバリックス® (2価)	3回 □□□																					●	1	2	3	1か月あけて2回、1回目から6か月後に1回									
	ガーダシル® (4価)	3回 □□□																					●	1	2	3	2か月あけて2回、1回目から6か月後に1回									
	シルガード®9 (9価) ※1回目の接種時期により接種回数が異なる	2回 □□ または 3回 □□□																					●	1	2	1回目から6か月以上										
																							●	1	2	3	2か月あけて2回、1回目から6か月後に1回									

生後2～7か月に接種開始した場合の接種例です。接種開始時期によって回数と間隔が異なります。詳細は「小児用肺炎球菌ワクチン接種フローチャート」にて。

・原則として、初回接種は生後14週6日までに行います。15週以降の初回接種は、腸重積症の好発年齢と重なるためお勧めしていません。
・原則として、途中からワクチンの変更はせず、最初に接種したワクチンを続けて接種してください。

平成19年4月1日以前に生まれた方は、1期と2期の不足分を20歳になる前日まで公費で接種することができます。

平成9年4月2日から平成20年4月1日の間に生まれた方は、未接種分を令和7年3月31日まで公費で接種することができます。

出生届の際に必要な書類をお渡ししています。